

# 伊形っ子



令和6年度学校だより6月号  
6月20日発行  
延岡市立伊形小学校 No6  
文責：校長 甲斐憲一

## 学校運営協議会(熟議)！

6月18日(火)の5・6時間目に学校運営協議会を行いました。今回の協議会には、6年生の児童も参加し、学校運営協議会の委員やPTA役員、保護者の皆さんと一緒にになって、話し合い(熟議)を実施しました。どうして児童を参加させたのかというと、子どもたち自線の意見も取り入れながら、よりよい学校を目指していきたいということや、6年生が参画することで自分の学校のために何かできることはないかと、主体的に考え、取り組んでくれるのではないかという思いがあったからです。

熟議では学校・家庭・地域の絆作りというテーマで話し合いを行いました。まずはグループに分かれ、学校・家庭・地域の絆に関する課題について意見が出され、付箋に記入しながら意見の分類を行い、各グループごとに課題等について発表しました。その後、学校・家庭・地域で今年度取り組みたいことも話し合い、数グループが全体で発表しました。子どもたちはしっかりと課題を分析し、その解決のために具体的な取組を提案することができたので、子どもたちを熟議に参加させて、とても良かったと感じました。

これから、熟議の中で出てきた様々なアイデアを参考にしながら、学校・家庭・地域の絆を深めていく取組を実際に2学期から実施できたらいいなと思っています。

このような取組を通して、子どもたちが、自分の学校・地域・家庭について関心を深め、次代を担う人づくりにつながっていくと思います。子どもたちの支援を行いながら、主体的に行動していく姿が増えてくることを楽しみにしています。

## スマホについて考える！

「スマホを持たせるのは遅いほうがよい」という著書を読むと、私自身も心配していることが、現実化しているなど不安を感じたところです。その著書の中で、「アメリカのITエリートは、他の子どもたちがスマホで脳を退化させている間に、自分たちの子どもはスマホを使わない特別の学校に登校させる」「スマホをしないだけで偏差値が10上がるという研究がある」「インドネシアではベビーシッターがスマホを使うため、乳幼児の頃からスマホに親しみ、ネット依存の発生率が日本の倍以上になっている」ということが記されていました。皆さんは、この内容を見てどう感じるでしょうか？今私たちの身の回りでもいろいろな問題は起こっています。ゲームやスマホのやり過ぎは脳の劣化につながり、まだ未熟な小児にとって脳の成長を妨げる大変危険なものであるということをみんなが理解していかないといけない時期に来ているのではと強く感じる今日この頃です。



【熟議の説明をする教頭先生】



【グループごとに意見交換】



【具体的な取組の説明】

「スマートフォンの使用による脳の退化」について、著書を読むと、私自身も心配していることが、現実化しているなど不安を感じたところです。その著書の中で、「アメリカのITエリートは、他の子どもたちがスマートフォンで脳を退化させている間に、自分たちの子どもはスマートフォンを使わない特別の学校に登校させる」「スマートフォンをしないだけで偏差値が10上がるという研究がある」「インドネシアではベビーシッターがスマートフォンを使うため、乳幼児の頃からスマートフォンに親しみ、ネット依存の発生率が日本の倍以上になっている」ということが記されていました。皆さんは、この内容を見てどう感じるでしょうか？今私たちの身の回りでもいろいろな問題は起こっています。ゲームやスマートフォンのやり過ぎは脳の劣化につながり、まだ未熟な小児にとって脳の成長を妨げる大変危険なものであるということをみんなが理解していかないといけない時期に来ているのではと強く感じる今日この頃です。